

こんにちは 日本BLS協会の青木太郎です。今回の講習会の講師をいたします。短い時間ですが少しでも実りがあるようにしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

時間を有効に使うために、受講前に以下の4つの課題をこなしてから講習会に参加して下さい。

課題1：前提テスト（任意）

課題2：事前テスト（任意）

課題3：提出文その1（要提出）

課題4：提出文その2（要提出）

## 課題1：前提テスト（任意）

今回の講習会は、ある特定の方々が受講されることを想定しています。その方々はどのような方かという、以下の「前提テスト」に合格される方です。自分が当てはまるかどうか、チェックしてみてください。

### 【前提テスト】

---

10問中7問以上 YES があれば、前提テスト合格です。

1. 約5年以上働いている。(yes / no)
  2. 医療にまつわる資格を持っている (yes / no)
  3. 自分は公私を問わず教育に携わっている (いた) (yes / no)
  4. 教育学部は出ていない。(yes / no)
  5. 医療職向けの研修をインストラクショナルデザインに基づいて組み立てる講習会に参加したことはない。(yes / no)
  6. スタッフが辞めちゃう悪夢をみたことがある (yes / no)
  7. 「世代の異なる人には、自分が受けた教育とは異なった学習スタイルが必要なのかも」と薄々思っている (yes/ no)
  8. 職員向けの研修方法について、根拠に基づいた新しい教育知見があるなら利用してみたいと思っている (yes / no)
  9. 「この教育研修って、本当に意味があるのかな？」という研修に参加したことがある (yes / no)
  10. 適切な教育・指導が出来ることを期待されるポジションについてる (いた)、またはつく予定である、またはそういう資格を持っている (yes / no)
- 

どうですか？前提テストは合格しましたか？合格しなかった場合、おそらく今回の講習会はあなたのニーズに合いません。合格された方は次に進んで下さい。

## 課題2 事前テスト (任意)

今回の講習会のゴールは、「院内でおこなう研修会をより効果的／効率的／魅力的に行うことを目的に、メルルが提唱したインストラクショナルデザイン（教育設計学）の第一原理の基本的概念／用語を説明できるようになる」です。

逆に言えば、上記のゴールを既に達成している人には、今回の講習会を受ける必要はありません。そこで、あなたにとって今回の講習会が必要かどうかを調べるために、以下の「事前テスト」をつけてみて下さい。これに7つ以上自信を持って答えられるようであれば、今回の講習会で学ぶべき内容は全て修得していらっしゃるの、今更受ける必要はありません。それではやってみましょう。

### 【事前テスト】

- 
1. メルルのID第1原理は、( )、活性化、例示、応用、統合の五つの要素が、近代インストラクショナルデザインの主要素であることを発見した研究者の名前からつけられた。
  2. 成人学習理論によれば、成人は実際に発生しそうなことを問題・課題とすることを(好む／嫌う)
  3. 成人学習理論によれば、成人は既に知っている知識(を学習の参考にするべき／を前提としてはいけない)。
  4. 新人はまだ何も知らないのだから、何も知らないという前提で基本からしっかりと教えるべきである(○／×)。
  5. 職場に必要な業務知識を与える場合、インストラクショナルデザイン理論によれば、その結果に責任があるのはたとえ新人であっても受講生である。(○／×)
  6. 学習者中心主義とは、学習結果の責任は(学習者／教員・指導者)にあるという、インストラクショナルデザインの基本的な考え方である。
  7. 必要なことを間違えなく伝えることを主眼に置いた教育を( )的教育観と呼ぶ。
  8. 受講生が学習目標を達成するところまで責任を持つと言うことに主眼を置いた教育を( )的教育観と呼ぶ。
  9. インストラクショナルデザイン理論によれば、受講生の達成度は講師の能力のバロメーターでもある(○／×)
  10. インストラクショナルデザイン理論によれば、成人学習者は自分が必要なことを学びたがる傾向がある(○／×)
- 

どうだったでしょうか？7つ未満しか自信を持って答えられなければ、あなたは今回の講習会で何か得るものがあるでしょう。

予習課題（インストラクショナルデザインの基礎とは何か？科学的な教え方へのお誘い11）を読んだ上で、以下の質問に答えて下さい。

課題3：提出文その1（要提出）

貴方が過去に受けた、授業・講習会・勉強会などで、「この先生は教え方が上手いな」と思った先生の例を挙げて、そのスタイルとそう感じた理由を140文字以内で答えて下さい。

課題4：提出文その2（要提出）

貴方が過去に受けた、授業・講習会・勉強会などで、「この先生は教え方がへただな」と思った先生の例を挙げて、そのスタイルとそう感じた理由を140文字以内で答えて下さい。

注意：課題3／課題4共に、授業で閲覧・取り上げる可能性があるため、適宜匿名化を行なって下さい。

予習課題の提出方法

1) 課題は、インターネット上のフォームに記入し送信する。

フォーム：<http://bit.ly/2019mer01>

方法：フォームに直接記入して送信する。添付ファイルは使わないこと。

2) 提出締切日：講座開始日の一週間前の同じ曜日の朝8時

例) 10月10日（月）に講座が始まる場合は、10月3日（月）の朝8時

なお、提出方法、締め切り日などについて担当者から別の指示があった場合にはその指示に従って下さい。

当日の講習会は、この課題3と課題4の提出が完了した方を対象とします。完了しなかった方は、グループワークには参加出来ませんが、見学参加は可能とします。それでは、当日お会いできることを楽しみにしています。

青木太郎